



スタートアップ説明会

2026年9月
配付資料

配布資料

1. 基幹教育科目再履修を含む履修方法について・・・1
2. 学内で使えるサポート資源について・・・・・・・・・・7
3. 障害のある学生への修学支援と長期履修制度・・・12
4. My 時間割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- 参考資料①. 大学生のための快適生活大作戦・・・・18
- 参考資料②. 知っておきたいあれこれ・・・・・・・・20

資料 1

基幹教育科目・履修説明

令和8年度後期(秋・冬学期)

再履修を含む履修方法について (基幹教育科目)

九州大学学務部教務課
基幹教育教務係

Kyushu University
VISION 2030
総合知で社会変革を牽引する大学へ



1. 令和8年度後期(秋・冬学期)基幹教育科目 履修関係スケジュール

1

日付	事項	備考
8月31日(火)～9月4日(金)	事前受講申請受付期間	Moodleコース(*1)から申込み ⇒結果発表：9/14(月)頃 Moodleコース(*1)に掲載予定
9月上旬～	英語授業選択システム公開	Moodleコース(*2)にアクセスして、必要な科目の申込み方法・期間等を確認 ●「学術英語・再履修」受講申請期間：9/10頃公開 ●未履修科目受講申請：9/10頃公開 ●テーマベース・スキルベース受講申請（第1次）：9月中旬頃公開
9月14日(月)～9月16日(水)	追加事前受講申請受付期間	Moodleコース(*1)から申込み ⇒結果発表：9/25(金)頃 Moodleコース(*1)に掲載予定
8月下旬頃～9月中旬まで	理系ディシプリン科目 実験科目 再履修受付期間	Moodleコース(*3)から申込み ●対象者：2025年度以前入学者，工学部の2026年度入学者
10月1日(木)	後期・秋学期授業開始	授業出席前にMoodleで履修する授業科目のコース登録
10月2日(金)～10月9日(金)17:00	履修登録期間	Campusmate-Jから履修登録 ※冬学期も忘れずに！
10月2日(金)～11月27日(金)17:00	科目読替申請期間★	読替科目一覧で「読替申請必要」と記載された科目を履修する場合は、Moodleコース(*1)から申込み
10月19日(月)～10月21日(水)17:00	履修確認・修正期間	Campusmate-Jで登録内容を確認し、適宜修正
10月28日(水)～10月30日(金)正午	最終確認期間	Campusmate-Jで登録内容を確認し、修正はMoodleから申込み
11月4日(水)～11月10日(金)17:00	後期・秋学期科目 履修中止期間	Moodleコース(*1)から申込み ※必修科目・集中講義は不可
12月7日(金)	冬学期授業開始	授業出席前にMoodleで履修する授業科目のコース登録
1月8日(金)～1月14日(木)17:00	冬学期科目履修中止期間	Moodleコース(*1)から申込み ※必修科目・集中講義は不可

※授業日程は基幹教育院HPから確認できます。https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/campus_life/course.html

*1：コース名「令和8年度・基幹教育科目履修関係ページ」（下記*2，3も*1のMoodleコースからアクセスできます。）

*2：コース名「2026年度後期・秋冬学期 英語授業選択システム」

*3：コース名「【再履修受付】2026年度後期・理系 D 実験科目」

★は、2024年度以前入学者対象

1. [Campusmate-J](#)の「履修・成績」→「成績照会」で既修得単位数を確認
2. [基幹教育履修要項](#)の自分の学部のページで、卒業要件に必要な修得単位数を確認
※再履修の要件等は、該当ページを確認
3. [自分の学部のA表（時間割枠）](#)と[B表（時間割）](#)を見比べて、履修できる科目を確認
※1年次に修得すべき科目が取れていない場合は
[A表は1年生用](#)を確認
4. B表（時間割）で「事前申請」欄に○がある授業は、履修登録期間前に[Moodle](#)で事前申請が必要
5. 履修登録期間に[Campusmate-J](#)から履修登録

1. カリキュラムの改定（2年次以上の学生）
2. 課題発見科目・学術アプローチ科目（・課題協学科目★）の履修
3. 学術英語の履修
4. 初修外国語の履修
5. 理系ディシプリン科目 実験科目の再履修
6. 健康・スポーツ科学演習の再履修
7. 受講制限のある科目の履修：事前申請が必要な科目

★2024年度以前の入学者対象

カリキュラム変更により自分が修得すべき科目が開講されなくなった場合は、その科目に読み替えることができる別の科目を修得します。

どの科目を修得すれば良いかは、読替一覧表で確認できます。
別の科目を履修登録し、単位修得後に読替えの申請をしてください。

基幹教育院HP> 学生向け情報

> 履修・授業関連・その他科目履修について



2. 言語文化基礎科目（英語） 【平成26年度～平成29年度入学者対象】 (2014～2017)

旧科目名	単位数	新科目名	単位数	読替に関する注記
学術英語Ⅰ-CALL-A	1	学術英語-CALL 1	1	
学術英語Ⅰ-CALL-B	1	学術英語-CALL 2	1	

「学術英語Ⅰ-リーディング・リスニング A, B」及び「学術英語Ⅰ-ライティング・スピーキング A, B」が不合格となった場合の再履修は、「学術英語・再履修」を履修してください。学期開始前に受講申請が必要です。

旧科目名	単位数	新科目名	単位数	読替に関する注記
学術英語Ⅰ-再履修	1	学術英語-再履修	1	

休学や留学により、「学術英語Ⅰ-リーディング・リスニング A, B」及び「学術英語Ⅰ-ライティング・スピーキング A, B」を未履修の場合に限り、各未履修科目に対応する関連科目を履修できます。

旧科目名	単位数	新科目名	単位数	読替に関する注記
学術英語Ⅰ-リーディング・リスニング A	1	学術英語-インタラクティブ	1	読替申請必要
学術英語Ⅰ-ライティング・スピーキング A	1	学術英語-アカデミックライティング	1	左の未修得科目から1科目を選択
学術英語Ⅰ-ライティング・スピーキング B	1			
学術英語Ⅰ-リーディング・リスニング B	1			

以下の科目は、学術英語に関連する課外活動に参加することにより単位が認定される科目です。受講した場合に新科目と単位認定します。

旧科目名	単位数	新科目名	単位数	読替に関する注記
------	-----	------	-----	----------

- ・令和8年度後期 基幹教育科目読替について・・・読替手続きの案内文
- ・令和8年度 基幹教育科目 読替一覧表・・・読替科目の一覧表（右の画像）

● 課題協学科目の読替 ★2024年度以前の入学者

新科目名	読替方法
①課題発見科目 （1単位） + ②学術アプローチ科目 （1単位） + ③レポート課題 （0.5単位相当）	2 単位
	⚠ ①～③の全てが揃うことで「課題協学科目（2.5単位）」への読替が行われます。 ⚠ 読替前の①、②の単位は卒業要件単位数に含めることができません。 ・「課題発見科目」と「学術アプローチ科目」は秋／冬学期に開講されます。 ・レポート課題の確認・提出は、専用のMoodleコース上で行います。「課題協学科目の再履修コース【2024年度以前入学者対象】」 （コースURL：https://moodle.s.kyushu-u.ac.jp/course/view.php?id=62053）

● 課題発見科目と学術アプローチ科目の履修登録について

- ・9月23日まで：再履修生の受講希望調査（最終締め切り）
- ・9月下旬：クラス分けをMoodleコース「令和8年度・基幹教育科目履修関係ページ」で発表予定

Moodleコース「**英語授業選択システム**」の記載をよく確認してください。
 科目により同システムからの**事前申請**が必要です。申請期間は科目によって異なります。
※後期分のMoodleコースは9月上旬に公開予定です。

○CALL以外の1年生向け英語科目を再履修（過去に受講して“F”評価となったもの）する場合は、「**学術英語・再履修**」を履修すること。

○休学や留学等により、右記科目を初めて履修する場合は、「学術英語・再履修」の受講対象者とはなりませんが、1年次科目“**未履修者**”として「**英語授業選択システム**」から申込みが必要です。

※「学術英語・再履修」受講についての注意事項

- Moodleコース「**英語授業選択システム**」に記載の説明をよく読んで**事前申請**を行ってください。
 「学術英語・再履修」は学生ポータルシステム上での**履修登録は必要ありません**。
- 事前申込期間：**9月上旬頃～9月末の予定 期限厳守**
- 教材費として、1コースにつき、**1,950円（税別）**がかかります。

10月中旬頃、Really Englishより登録確認、支払いについてのメールが全学基本メールに届くので**1週間以内**に支払う必要があります。支払い方法は申込みページの指示に従ってください。

初修外国語

初修外国語（第2外国語）「**〇〇語I（ⅡA／ⅡB）**」の再履修は、初回の授業に参加し、担当教員に許可を得たうえで、Web履修登録期間中に履修登録を行う必要があります。

<対象者>

- ・2025年度以前入学者
- ・理学部物理学科・歯学部・薬学部・工学部の2026年度入学者

自然科学総合実験 実験で深める自然科学

実験科目（理D）の再履修は、**期日までにMoodleコース「【再履修受付】2026年度後期・理系D実験科目」で申込みを行ってください。**

※手続き方法は学生ポータルシステム（Campusmate-J）でお知らせします。

<対象者>

2025年度以前入学者、工学部の2026年度入学者

健康・スポーツ科学演習

後期に健康・スポーツ科学演習を再履修したい場合は、開講時限が月曜5限のみのため、時間割を作成する際は注意してください。

「時間割B表」で、「事前申請」の欄に○印がついている科目は、履修登録期間より前に**Moodleで事前申請が必要です**。

事前申請期間：8月31日（月）～9月4日（金）23:59
 （空きがある場合）追加申請は**9月14日（月）～17日（水）23:59**

- ・事前申請をして受講許可を得ないと、授業への出席は認められません。
- ・事前申請者数が上限人数を上回る場合は抽選となります。
- ・抽選結果は、初回授業開始前までにMoodleで発表します。
- ・事前申請科目の履修登録は、事務で一括して行いますので、学生の履修登録は不要です。

履修計画を立てたら、1ページのスケジュールに沿って、登録を行いましょう。（事前に自分のスケジュール帳に記帳しましょう。)

事前申請～履修登録時は、下記URLの履修登録編のフローに従って進めましょう。



履修登録用フロー



登録の期間が来たら
 該当の質問に答えて、
 また次の期間が来たら
 その次のステップに
 進めていこう！

- 以下の科目の履修登録は、事務で一括して行います。学生自身での学生ポータルシステム（Campusmate-J）からの履修登録は不要です。
 - ・ 課題発見科目
 - ・ 学術アプローチ科目
 - ・ 事前申請が必要な科目（前ページ参照）
- 上記以外の自分で学生ポータルシステム（Campusmate-J）で登録する科目で、再履修する科目は次のことに留意してください。
 - 原則、自分のクラスと同じクラスの授業を受講してください。
 - 必ず事前に授業担当教員に再履修での受講の許可を得てください。
- 科目名、曜日、時限、担当教員名をよく確認して登録してください。

学生生活、修学等の相談窓口



伊都地区センター1号館1階
・ インクルージョン支援推進室
(障害への配慮を授業で受けたい人)

伊都地区センター1号館2階
・ 基幹教育教務係
gazkyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp
(基幹教務科目の履修・授業・試験等)

伊都地区センター2号館4階 嚶鳴天空広場
・ 学習サポート室 ※学生による学習相談

伊都地区ビッグさんど2階
・ 学生相談室
・ 健康相談室
・ コーディネート室

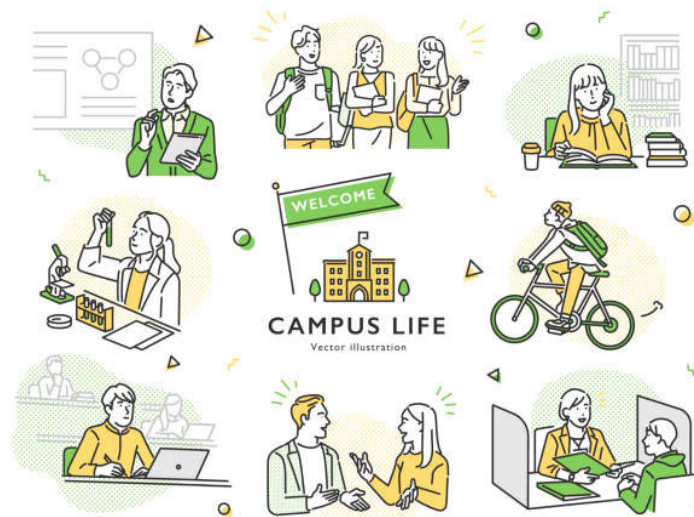
その他の教育・学生支援もあります。
詳しくは九州大学のHP「キャンパスライフ」をご確認ください。
(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/education/>)



わからないこと、困ったことがあれば、一人で悩まず相談しましょう。

資料 2

学内で使える サポート資源について



学内で使えるサポート資源について

キャンパスライフ・健康支援センターコーディネート室

— 本日の内容 —

1. 相談申込の方法について
2. 時間割を作成する際の留意点
3. 心身共に健康な大学生活を送るための留意点



①相談申込の方法について

1.Web相談受付フォームのご案内



ホームページ上の
「Web相談受付フォーム」より
申込を受け付けています！
(英語・中国語対応可)



九州大学
キャンパスライフ・健康支援センター
<https://chc.kyushu-u.ac.jp/>

①相談申込の方法について

2.利用方法について

説明事項・同意事項を確認・承諾の上、次項のフォーム入力に必要な事項を入力して送信して下さい。後日スタッフよりご連絡させていただきます。

(Web相談受付フォーム：入力画面)

Web相談受付フォーム

相談者のお名前

姓 名

相談者のお名前(フリガナ)

セイ メイ

相談者メールアドレス

確認のためにもう一度入力

電話番号

相談者の性別

☒ 本人
 ☐ 関係者

☒ 学生
 ☐ 教職員

学生番号

以前に、キャンパスライフ・健康支援センターを利用したことがありますか。

☒ あります
 ☐ ありません
 ☐ 覚えていません

☐ 経済的なこと
☐ 健康や生活習慣に関する相談(健康診断の結果、あるいは身体的な状態に関するもの)
☐ 学業に関する相談(授業、あるいは学業の進捗に関するもの)
☐ 大学での生活に関する相談(学業、あるいは学業の進捗に関するもの)
☐ 生活支援に関する相談(生活支援に関するもの)
☐ その他

希望する曜日・時間を教えてください(可能な時間を全部を入れてください。)

	月	火	水	木	金
9:00~10:00	☐	☐	☐	☐	☐
10:00~11:00	☐	☐	☐	☐	☐
11:00~12:00	☐	☐	☐	☐	☐
12:00~13:00	☐	☐	☐	☐	☐
13:00~14:00	☐	☐	☐	☐	☐
14:00~15:00	☐	☐	☐	☐	☐
15:00~16:00	☐	☐	☐	☐	☐
16:00~17:00	☐	☐	☐	☐	☐

希望するキャンパスを教えてください(可能なキャンパスを全部を入れてください。)

☐ 伊勢センター
 ☐ 伊勢ウエスト
 ☐ 南院
 ☐ 南院
 ☐ 大橋
 ☐ 伊勢イースト

※希望するキャンパスについて、別途説明させていただきます。

送信確認

☐ 同意事項に同意し、上記内容を確認した上で送信してください

送信する

(確認画面へ)



(Web相談受付フォーム：確認画面)

相談者メールアドレス

0000000@kyushu-u.ac.jp

電話番号

000-000-0000

相談者の性別

本人(学生)(学生番号:00000000)

以前に、キャンパスライフ・健康支援センターを利用したことがありますか。

あります

送り先の内容(複数回答可)

☒ 学業に関する相談(学業、あるいは学業の進捗に関するもの)
☐ 生活支援に関する相談(生活支援に関するもの)

希望する曜日・時間等

希望する時間はありますか。

希望するキャンパス

希望するキャンパスはありますか。

送信確認

同意事項に同意します

送信

送信を中止する

内容を修正する

コーディネート室・学生相談室からの情報発信

☆XやInstagramで学校生活やセルフケア等についての情報発信をしています！
ぜひ、フォローをお願いいたします(*^-^*)



【X】
九州大学 コーディネート室
(@coordination_)

【X】
九州大学 学生相談室
(@studentcounsel9)

【Instagram】
九州大学 学生相談室
(@qdai_gakuseisoudan)



②時間割を作成する際の留意点

1.優先順位を考える

現在の単位の取得状況を見て、どの科目を取る必要があるかを考えましょう。



②時間割を作成する際の留意点

2.自分に合った授業形式・成績の評価方法か確認する

自分が得意なことを生かせる授業を選ぶことも工夫のひとつです！

人前で話をするのは緊張する…

レポートを書くのが苦手…

プレゼンテーションやディスカッションが少ない授業を選ぶ？

成績評価で、授業への出席や試験のウェイトが大きい授業を選ぶ？



②時間割を作成する際の留意点

3.自分の体調にあった時間割になっているか確認する

無理のある履修計画を立てると、気力・体力がすぐに限界に達して、全ての授業に出られなくなってしまうことが多いです。

長時間授業に出ると疲れる…

早起きが苦手…

1限の時間に授業を入れないようにする？

スキマ時間を作る？



③心身共に健康な大学生活を送るための留意点

☆学習面で分からないことが出てきたときは、
できるだけ早く誰かに聞きに行く！



友人・知り合い

学部・学科の先生

授業担当の先生

学習サポーター

図書館TA（Cuter）

※「少し困った」という段階で聞きに行くのがポイントです。
そのままにしていると、わからないことが大きくなって取組みづらくなります。

☆コーディネート室の紹介

・どこに相談したら良いのか分からない...

・困っているけれど、どうしたらいいかわからない...

電話・窓口または24時間365日Web相談受付フォームより相談を受け付けています。お気軽にご連絡ください。



九州大学
キャンパスライフ・健康支援センター
<https://chc.kyushu-u.ac.jp/>

資料 3

障害のある学生への 修学支援と長期履修制度

障害のある学生への修学支援

－合理的配慮とは？－

1

障害のある学生への修学支援

Q1. 大学における合理的配慮とは？

- A. 障害のある学生の修学機会を保障するために、大学が実施する過重な負担のない範囲で必要かつ適当な変更および調整のこと。

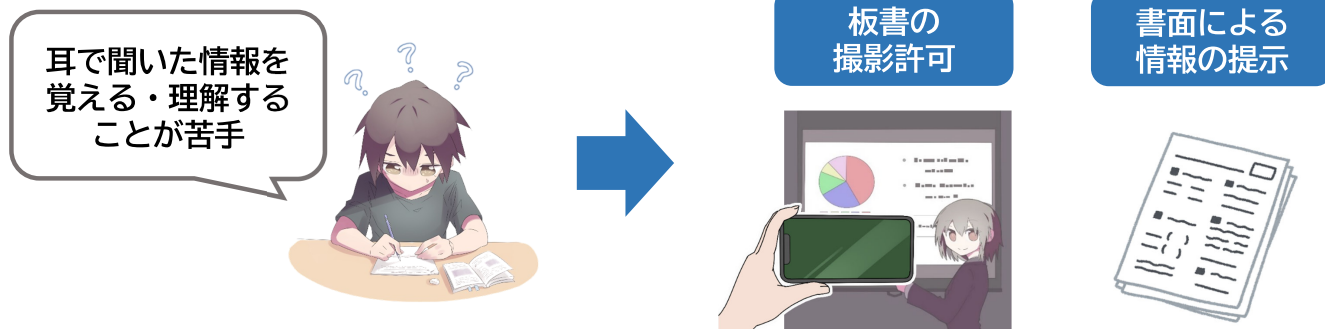
令和3年6月に改正された障害者差別解消法により、国公立に加えて、私立大学も含めたすべての大学等、不当な差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の不提供の禁止が法的義務とされることになりました。

2

Q2. どのような「合理的配慮」を受けられますか？

A. 例えば、次のような例が考えられます。

・発達障害がある人



- ・学生の困難の現れ方が一人ひとり違い、個人差がある
- ・支援の内容も障害や個人によって異なる

3

Q2. どのような「合理的配慮」を受けられますか？

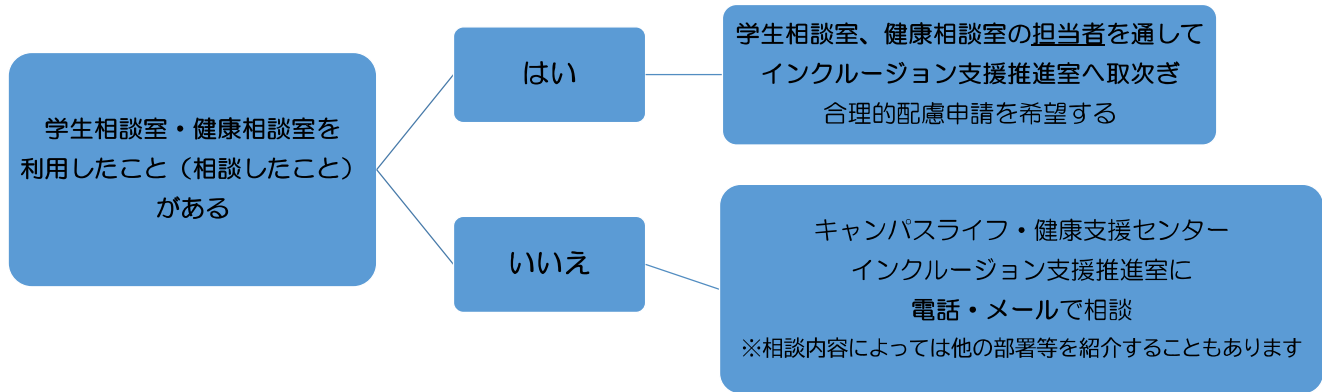
・聴覚過敏がある人



- ・授業の**本質・目標を損なわない範囲**で配慮が提供される
- ・成績の評価基準は変更できないが、評価方法は変えることができる

Q3. 授業で合理的配慮を受けるにはどのような手続きが必要ですか？

A. 以下の流れに沿って相談してください



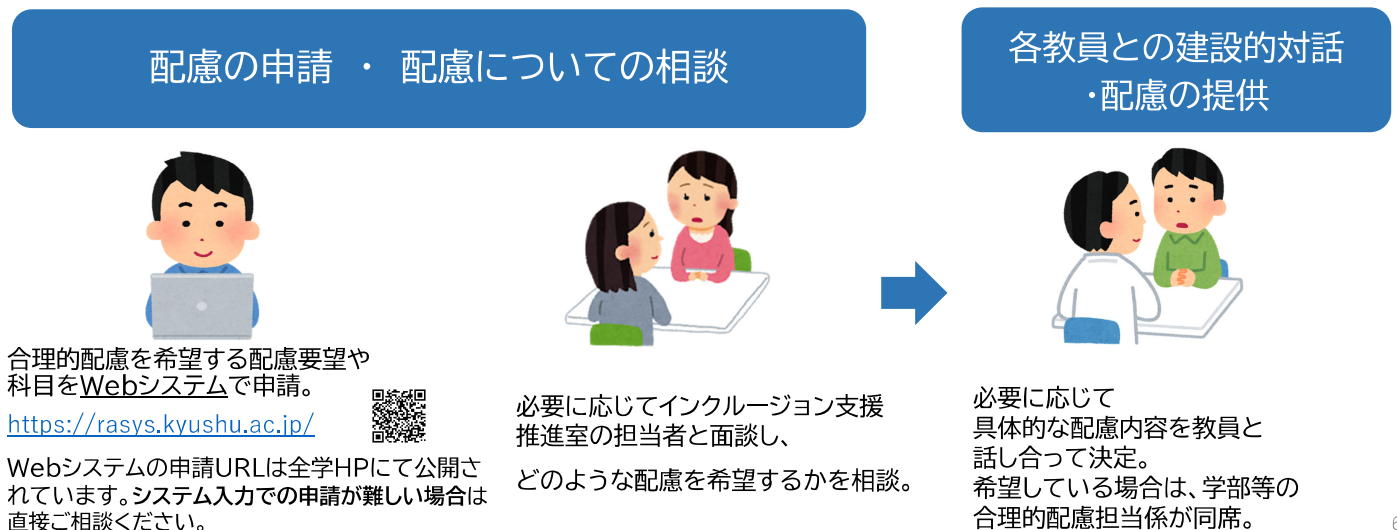
① キャンパスライフ・健康支援センター インクルージョン支援推進室（センター1号館1階）

☎ 092-802-5859

✉ inclusion@chc.kyushu-u.ac.jp

Q4. 合理的配慮はどのような流れで提供されますか？

A. 以下の流れで配慮が提供されます。



長期履修学生制度の紹介

7

Q1.「長期履修学生制度」とは？

A. 学生が職業を有している等の事情がある場合に、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的な履修を認める制度です。

Q2.申請する資格があるのは？

A. 長期履修制度への申請時に修業年限内で在籍する学生のうち、下記 の事項のいずれかに該当する者。

職業を有する者

身体等に障害があるため
修学に相当な制限を受け
ると認められた者

新型インフルエンザ等
対策特別措置法の対象
とする新型インフルエ
ンザ等感染症等により修
学に相当な制限を受け
たと認められた者

その他やむを得ない
事情により、
修学に相当な制限を
受けると認められた
者

8

Q3.「長期履修学生制度」の適用が認められると？

A. 修業年限を超えての計画的な履修が可能となり、長期履修学生制度適用期間中は留年として取り扱われないことになります。また、授業料においても通常の在学と相違点があります。

■長期履修学生制度未適用時(=通常の在学)の授業料例

1年目	2年目	3年目	4年目
26万7900円×2学期	26万7900円×2学期	26万7900円×2学期	26万7900円×2学期

26万7900円 × 8 学期 = 4年間で214万3200円

在学年数は
違っても
支払う総額は
同じ

■長期履修学生制度適用時(例として4年を6年に延長)の授業料例

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
17万8600円 ×2学期	17万8600円 ×2学期	17万8600円 ×2学期	17万8600円 ×2学期	17万8600円 ×2学期	17万8600円 ×2学期

17万8600円 × 12 学期 = 6年間で214万3200円

9

Q4.「長期履修学生制度」を申請するには？

A. 申請の時期、手続き、審査の方法等は学部によって異なります。自分が所属する学生係に電話やメール、または直接窓口にて問い合せてください。
なお、長期履修学生制度は「計画的な履修」を認める制度であることに留意の上、申請してください。

各学部・学生係の問合せ先は下記のURLを参照してください。

https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/contact/student_section/



10

資料 4

My 時間割

令和8年度後期 履修登録科目チェック表 (My 時間割)

※履修登録・最終確認期間までに学生ポータルシステムの「My時間割」に全て正しく反映されているか確認してください。

時限	月	火	水	木	金	単位数
1	科目名					
	教員名					
	教室					
	単位数					
2	科目名					
	教員名					
	教室					
	単位数					
3	科目名					
	教員名					
	教室					
	単位数					
4	科目名					
	教員名					
	教室					
	単位数					
5	科目名					
	教員名					
	教室					
	単位数					
単位数計						

参考資料①

大学生のための
快適生活大作戦

大学生のための快適生活作戦

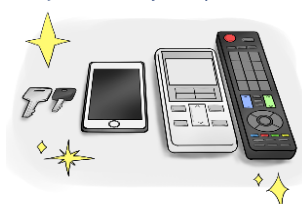
やってみよう!

こんなことで困っていませんか？

毎日の生活をスムーズにするためのコツをご紹介します。

探し物が多い

カギ スマホ リモコン



●置き場所を作る

- ・物の置き場所を決め、移動させるときは「塊」で移動
バックインバック（バックの中に入れる小さなバックごと移動）
- ・もともと、物が移動出来ないように工夫する
輪ゴムで文房具を固定する
- ・無くしてもよい安価なものを使用する

部屋が片付かない



●片付いた部屋をキープさせる

- ・散らかった部屋の片づけは、範囲・時間を決めて行う
- ・掃除をする場所を決める少しずつ小分けにきれいにしていく
- ・決めた時間、集中して片づける

●掃除の手伝いをお願いする

- ・自分でしたほうが良いことを「指示を出してください」とお願いする

約束を忘れる



●メモをする

- ・見たり聞いたりしたときに、メモを取ることが基本。
メモを取ったら声に出して記憶を補強する。

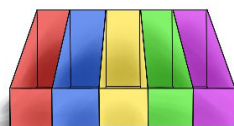
●使える物を利用する

- ・パソコン・スマホのリマインダー機能を使う
- ・時計の時間設定を少し進めておく

●人に頼む

- ・期限前に声をかけてもらえるように、誰かにお願いする

書類が散乱する



●どこにおいたか覚えていない

- ・色付きのファイルを使い、赤(最重要)青(大切なもの)などに分類する

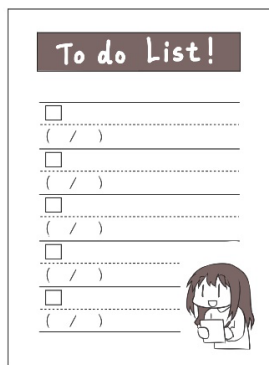
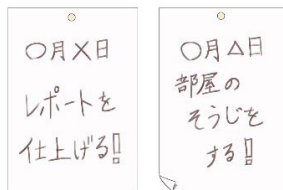
●持っていくのを忘れる

- ・パソコン・スマホのリマインダーを使う
- ・持ち物リストを作成し、出かける前にチェックする
- ・大切な日の前はカバンを交換しない

●データが飛んでしまった

- ・大切なデータは2か所以上に分けて(USB・PC等)に保存

計画を 先延ばしにする



- ゆとりを持ったスケジュールを立てる
 - 1つの課題に対し、1日単位、週単位で予定を見積もる
 - 1日の時間配分を立てるときは時間を長めにとる（1時間単位）
 - 絶対にやるべき課題の間には、調整できる課題を挟む
 - アラームで時間の切り替えを確認する
- 段取りができない
 - 優先順位をつける
 - 完了日を決める
 - To Doリストを作成し、順番に済ませていく
 - 時間の配分を途中で見直す
 - 終わったものは消していき、保留のものには理由を書いておく
- 集中できない
 - 机の上のものを片づける
 - 携帯はマナーモードにしてしまっておく
 - 作業をする時間帯を選ぶ
 - 休憩を取り、気分転換をする

健康管理が できない



- 遅くまで起きないための工夫をする
 - 終わる時間にアラームをセットする
 - 絶対しなくてはいけないことのみ寝る前に言い、他は別の時間に行く
- 飲みすぎ、食べ過ぎになりがち
 - ながら飲食は止める
 - 飲食する最終時間を決める
- 依存しやすい傾向があることを認識し注意をする
 - 家族など、他の人にも協力してもらいながらやめる

お金の管理が できない



- 買いすぎてしまう
 - 買い物に出かける回数を減らす
 - 持っていくお金を減らす（クレジットカードは持って行かない）
 - 買い物リストを作り、そのリスト内のものだけ買う
 - 買うまでに時間をかける

けがや事故が 多い



- 怪我をしやすい
 - いつもより5分早く行動をする
 - イライラしたら深呼吸をする
- 車の事故を起こす
 - 長時間の運転を避ける
 - 「いつもの経験」で運転せず、道路標識に従う

参考資料②

知っておきたいあれこれ

センター1号館

インクルージョン支援推進室 (1階)

・専門スタッフによる、障害を理由とした合理的配慮についての相談

・☎/FAX (092) 802-5859 E-mail: inclusion@chc.kyushu-u.ac.jp

学務部 (2階)

・落とし物、経済支援、修学支援、課外活動施設、教務事務、就職指導など

卒業までの生活全般の相談

・基本的に窓口で相談してください。

・どこに相談したらわからないときは、何でも相談窓口へ

・☎ (092) 802-5915

ビッグさんど

健康相談室 (2階)

・医師、保健師、看護師による病気や生活習慣についての健康相談

・☎ (092) 802-5881

学生相談室 (2階)

・カウンセラーによる、修学や人間関係に関する悩みについての相談

・☎ (092) 802-5881

コーディネート室 (2階)

・どこに相談すればよいかわからないとき

・☎ (092) 802-6020

センター2号館

新入学生サポート室・学習サポート室 (4階 喫煙天空広場)

・4月は、新入学生の相談を2年生先輩が相談にのってくれます

履修登録や、サークルの事などなんでも相談できます

・5月以降は学習サポートを大学院の先輩が行ってくれます

レポートの書き方から、数字などの問題の解き方など学習面の指導をしてくれます

中央図書館

iCubeサポートデスク (中央図書館4階)

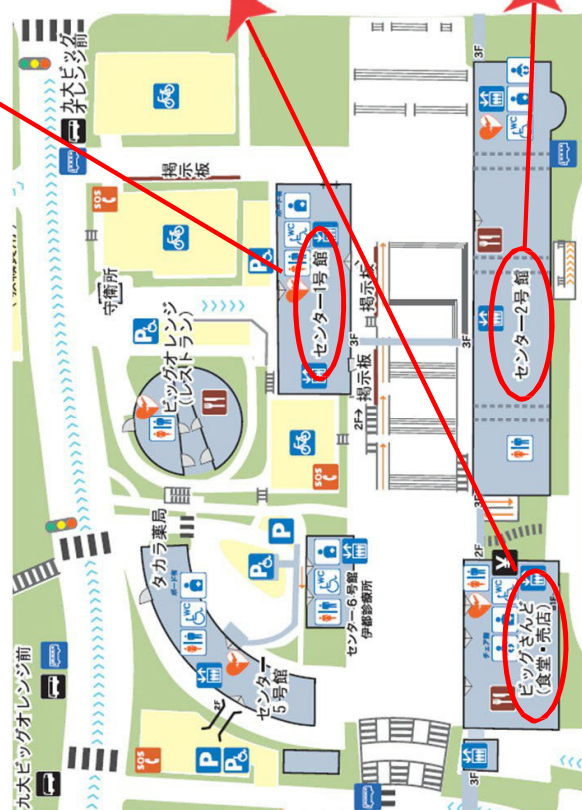
・ Microsoft OS Office ウィルス対策ソフトの提供や、パソコンの故障に関する相談

・ ☎ (092) 802-5868

知っておきたいあれこれ

青文字記載が

キャンパスライフ・健康支援センターです。



掲示板・学生ポータルシステムについて

学生の皆さんへの各種連絡は、原則としてすべて掲示板と学生ポータルシステムにより行われます。毎日必ず見るようにしましょう

※掲示板の見落としががあっても、学生自身の責任になってしまいます。

(1) 休講、補講、臨時の教室変更、講義連絡、全般的なお知らせ (一般情報)



①学生ポータルシステム <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/faculty/class/learning/portal/>

②伊都地区センターゾーンの掲示板

(2) 時間割変更、履修、授業・試験関係の連絡事項など

基幹教育科目の時間割変更、履修、授業、試験関係の連絡事項などは公用掲示板に掲示しますので、必ず確認しましょう。

a) 伊都地区センターゾーン内の公用掲示板・基幹教育科目に関する連絡事項を掲示

b) 所属学部 of 掲示板・所属学部からの連絡事項を掲示

